

ライフスキル研究所だより VOL.25

2007年11月15日発行 会員数 正会員29名・賛助会員2名
発行者：特定非営利活動法人 ライフスキル研究所

〒563-0017 大阪府池田市伏尾台1丁目32-47

TEL 072-750-2797 FAX 072-750-2805

E-mail info@lifskill-npo.org URL <http://lifskill-npo.org/>

子どもべや伏尾台
ピカソコース



2007年10月27・28の2日間、日本芸術療法学会に出席した。学会会場では、大阪にいてもなかなかお会いできない方々と顔を合わせることができ、その場を借りて交流を深めることが出来た。しかしなんといつても今回圧巻だったのは、稀有の天才とうたわれた土方巽(ひじかたつみ)の芸術に触れる機会を得たことだ。講演者は立教大学宇野邦一氏、「芸術は何かの手段になりえるのか」と開口一番鋭い問題提起を場の人々に浴びせつつ、土方の舞踏を語る。実際、慶應義塾大学アートセンターから持ち込まれた土方巽の映像・その踊りは、私から言葉を失わせた。見終えた後のあの私に迫る感覚からすれば、そう遠くない将来私は、慶應義塾のアートセンター(土方巽の映像が保管されている)の門をくぐるだろう。 小村チエ子

アートでスカッと！子どものアート教室

芸術の秋、10/20(土)は伏尾台4・5丁目子ども会の遠足の一環としてアートでスカッと！を実施しました。(小学1～6年の子ども約20名・五月山児童文化センターにて)落ち葉やどんぐりなど秋の自然を使って枯れ木に魔法をかけるワーク「魔法の木」では、グループに分かれ、落ち葉を変身させ、賑やかな木が出来上がりました。それぞれのグループが作った魔法の木を見ながら、「これは誰がつくったの?」「これは何かな?」と興味津々。後半の自由制作も制作意欲が高まっていて、皆集中し、動物やアクセサリー、弓矢、クリスマス飾りなど、自分の作りたいものを作りたいように、自分で考えて制作することができました。子どもたちの想像力を高めていく機会を持ち続ける必要性を強く感じました。

「地域と小学校を結ぶ文化祭」(11/3(土)伏尾台小学校にて)ではイライラ解消！をテーマに、イライラ玉とすっきりキラキララッキー玉のワークを実施しました。この文化祭でワークを実施するのは初めてでしたので、どのくらいの参加者があるのか想像もつきませんでした。約50名もの子ども・大人たちが参加してくれました。もう、イライラがたまりすぎて爆発寸前ほど激しい子から、少し恥ずかしそうに解消する子、ひかえめに「お母さんに怒られちゃった」と教えてくれる子…いろいろなタイプのイライラがありました。後には色とりどり・いろいろな形のイライラ玉が残りました。そして、キラキララッキー玉を手に、教室から出て行きました。クリスマスツリーに飾ってね！ (中嶋 ちさ)

冬休みアートでスカッと！ ご案内

12月22日(土) 10:00～11:30 伏尾台コミュニティセンター第1会館 文庫室

12月26日(水)・27日(木) 10:00～11:30 池田コミュニティセンター

参加費：1回100円 持ち物：作品を入れるビニール袋

「アートでスカッと！子どものアート教室」は池田市公益活動助成金の協力を得て活動しています。

【これからの講座・ワークショップご案内】 当研究所ファシリテーター認定対象講座

アートセラピー講座

描画・音楽・ドラマなど、いろいろな芸術療法を体験したい方のための入門講座。(日程内容が変更になる場合があります)

日時：2008年1/19・2/2(土)10:00～18:00

1/26・3/8(土)13:00～18:00(計4日)

場所：大阪NPOプラザ

受講料：会員50,000円/一般55,000円

講師：増野肇/サイコドラマ(ルーテル学院大学教授)

小村チエ子(ライフスキル研究所理事長)他

続・絵の見かた・子どもの気持ち講座

絵に現れた子どもの心・メッセージを読み取り、子どもへの理解を深めたい方に。今回は樹木画・家族画を中心としています。(大阪・池田周辺で開催予定)

日時：2008年3/1・15(土) 10:00～16:00

受講料：会員29,000円/一般32,000円

子どもべや伏尾台教室

11月の教室

11月2日・9日・16日

12月の教室

12月7日・14日・21日

21日はお正月アート！

ピカソコース：10月は「外の世界に目をむける」ことをテーマに、公園の草花のスケッチをしました。11月は「色の発見」がテーマです。2日は焚き火をし、赤の発見をしました(blodをみてね)

ダヴィンチコース：10月はモナリザの模写(blodみてね)・サンマの観察画

11月はムンクの叫びに挑戦しています。

12/21は久々の生活美術シリーズ、お正月の手作りアートです。一般の方も参加できます！(参加費用¥500)(講師：服部さん・大木さん)

* 会員の小林求留美さんからお便りが届きました。今回は2回目です。

*** 小林風名古屋レポ part 2 ***

正会員 小林求留美

< 保護者の姿勢とS中 >

次に大阪との違いを痛感したのが、前述の真面目であることと大いに関連すると思われませんが、保護者の学校に対する姿勢です。

4月といえばどの校においても学校へ顔を出すことが多いものです。しかし、このS中のように中旬の役員選抜の保護者会ほとんど出席(41名中36名)下旬の学級懇談会ほぼ全員出席。以前の小・中通してもなかった出席率です。一学年4クラスですが、息子のクラスだけではなく他クラスでも高い出席率でした。

専業主婦ばかりかかというところでもなく、仕事を持つ母親も多くいます。そして学級懇談会の内容も経験していた通り一遍形式のものでなく、各保護者が意見(本音?)を言う充実度、濃度の高いものでした。例えば、ある保護者などは初回の自己紹介を兼ねた席で、「私の息子は」といった点がすばらしく、この点について伸ばす指導をして下さい。でも

なところが課題なので、取り組んでほしい云々」学習面だけの話ではなく、部活動や課外の活動について語ったものです。また、初めての会で転居してきた旨を話した私は、司会をされていた保護者をはじめ何人かの方から次の言葉ももらいました。「ようこそS中へ!!この中学へ転入された選択は正しかったと思いますよ。私達歓迎します・・・。」すっかり面くらった私でした。つけ加えると全体的に出席する保護者の多くが、礼儀正しい服装。学校に対し、敬意を払って規律を正して言い分を聴く姿勢そして、意見も述べるといった姿勢でした。

こういった保護者の関心の高さに比例してか、毎年4月下旬に「S中教育について」と題して当校の教育方針説明会及び、その年度グランドデザイン～S中教育プラン～の発表の場が全保護者対象に持たれています。

< S中独自の教育内容について >

先に述べてきました教育プランに基づいて日々の授業が行われるのですが、その内容は各教科共本当に驚かされます。9教科共教科書通りの基本マスターやパターン化された応用の学習といった一般的なものではありません。教科書内容履修はもちろんですが、それを基礎として独自のものを入れています。また中間期末などの学内テストも変化に富む内容のものです。

例として2、3あげると、英語科においては文法、会話などに加え英語を母国語とする国の人々の文化習慣を問う設問や、海外のキャラクターを使ったマンガを自分で作成し英語のセリフをふき出しに入れて完成させる課題。社会科では、今春起こった長崎市長銃撃事件とアメリカ東部で起こった韓国系青年の銃乱射事件について共通点をあげ自分の見解を述べること。家庭科のレポートでは、TVのサザエさんを好きなだけ観て想像で磯野家間取り図を描く。改装したければ改装する点を加えその理由も記載するなど。

要は、日々の教科書だけの授業ではなく常に新聞、TV、本、映画などなどから情報を得て、日本国内だけでなく世界の情勢にも関心を持ち、多方面に渡って幅広く見識を深める努力をすることが要求されます。それを踏まえた上で自分の意見考えを述べる記述式的答案があるわけです。

さて、この独創性に富む教育を実践している当の子供達とは言ういわゆる「ガリ勉」タイプの子は1人2人とか。みんな熱心に勉強はするけれど、学校生活も思いっきり楽しむ「のびのび」とした日々を送っているようです。(息子談)そしてビックリするのが、友人に対する観察力の鋭いこと!(私の印象)

こういった独自の教育方針を打ち出して行っている公立中は他区も合わせると名古屋市で数校とききました。ただ単に教育水準が高いとかそういった単純なものではなく、また私立の中・高一貫校にみられるスピード詰め込み方式教育でもなく、「学ぶこと」とは何かに焦点を当てた教育なのかもしれません。

そしてまたこれも公立中としては特異な事ですが、このS中は毎秋行事の一つとして大ホールを借り切った合唱隊を行います。保護者一律に課せられる12,000円の会場費負担を考えると、とても一般の公立中とは思えないのですが、この点も昔から保護者の理解を得ているのです。(現在30代の卒業生談によると)

S中は何十年も前からその独創性豊かな教育に誇りを持ち、またその卒業生が自分の母校、出身校に誇りを感じる学校の様です。

会員交流会・理事会ごあんない

第17回会員交流会 2007年11月18日(日)10:00～12:30

「こころの目でみてかく本」を使いこなす!

いけだNPOセンター ウォンバット 参加費500円

出席の方は11月16日(金)までにお知らせください。

第32回理事会 2007年11月11日(日)13:30～15:30

男女共生サロン

ご寄付のお願い

ライフスキル研究所の活動を支える活動資金として、皆様からのご寄付をお願いいたします。皆様からのご寄付は、「アートでスカット!心の健康サポート事業」や「小学校に砂山を贈ろう!」といった、ボランティア活動の資金とさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

事務局より すっかり秋めいてまいりました。最近池田市内の私立幼稚園での絵画指導に理事長と行きました。50分間あれこれ言わずとも集中できる幼児たちを見ていると、私の関わっている高校生たちの姿が悲しく感じられました。そのことを当の生徒たちに伝えようと、「そんな、無理してるだけに決まってるやろ!」。高校生になったら逆に、少々無理してもよくない?(CN)